



# やらまいか

クラブテーマ：原点回帰

会長／金田 征宏 幹事／大島 嗣雄 会報委員会／中村 嘉輝・中西 弘徳 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所  
事務局／豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第40回 通算1477回 平成29年4月25日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/11 修正出席率
		62名	41名	70.7%	100%

ゲスト：(なし) ビジター：(なし)

答礼人形里帰り展ご支援のお願い

## ★会長あいさつ

### 金田 征宏 会長



こんにちは。  
先週の月曜日  
4月17日の東  
三河分区親睦  
ゴルフ大会は、  
雨の中、無事  
に終えること  
が出来ました。

特に実行委員会の水野委員長はじめ、ゴルフ同好会の皆さん、大変ありがとうございました。当日は、ゴルフはハーフで終わりましたが、表彰式は盛り上がり良かったです。

当クラブの本年度の大きな事業は、2月のIM、4月の東三河分区ゴルフ大会です。二つの大きな事業を無事に終えることができました。会員の皆さんのご協力のお陰です。

今週末からゴールデンウィークが始まります。事故等気をつけて頂きたいと思います。

先週の火曜日に大沢パスト会長と私と幹事の3人で、伴パスト会長が入院されている病院に面会に行きまして。少し調子が良くなってきてお元気な様子でした。

## ★幹事報告

### 大島 嗣雄 幹事

例会臨時変更のお知らせ  
次回例会について

## ★委員会報告

雑誌広報委員会 (杉浦委員長)

ロータリーの友 4月号の紹介

次年度答礼人形委員会 (大沢委員長)

## ★地区研修

### 協議会の報告

#### 告

### 第1分科会 大木 健市 次 年度会長



4月22日に次年度のための地区研修協議会がありました。次年度の理事、各委員長、入会3年未満の方々と出席をして参りました。

第1分科会に出席し、RI会長イアン・ライズリー氏の方針テーマ、神野地区ガバナーの方針テーマの説明を受けて来ました。

RI会長は、「ロータリー：変化をもたらす ROTARY : MAKING A DIFFERENC」をテーマに掲げられました。MAKING A DIFFERENCは、他との相違点を作りなさい、見つけなさいということです。私なりの解釈は、他の奉仕団体と違う、ロータリーという世界的組織の基で、地域や国に良いことをしましょう。個人一人一人では出来ない奉仕をロータリーと言う組織を使って行動しましょう。その奉仕を通じて、人々の人生に良い変化をもたらしましょう。と思っています。

地区ガバナーの方針は、「今日からのロータリーを楽しもう」です。この言葉は、簡単なようで実は奥が深い言葉です。以前にも、高桑パスト会長が「ENJOY ROTARY」をテーマとしました。この楽しむということは、単

に遊びをし、酒を酌み交わし、楽しむだけのものではなく、我々はロータリーの理念を再度確認し、その理念を大切にして、自分たちの行う奉仕活動を地域の皆さんに伝えていかなければなりません。ロータリー活動に参加し、行動することによって、自らを変え、周りを変える力になるのではないかと考えています。

「良い心掛けと良い行動、どちらが人に喜ばれるか」100%美しい心を持っていても、人に喜ばれることを何もしない人と、心の中は欲まみれだけど、人に喜ばれることとどちらが喜ばれるかという事です。心の中はどうかであれ、人の喜ぶ行動が出来ると人の方が、周りの人に必要とされます。

テレビを見ていると良い話や為になる話が紹介されます。その時は感動して自分の知識にはなりますが、そのままにしていると、忘れてしまって過去の情報になってしまいます。目の前に困った人がいて、どうしようと考えているうちに他の人が手を貸したりして、状況が変わってしまう事もあります。助けようと思っていましたと言っても相手には通じません。どんなに思いが強くて行動がなければ結果はついてこないのです。良い心がけよりも、行動の方が、人に喜ばれるのであれば、その時の考えは無視をして、行動をしてしまった方が相手に喜ばれ、ひいては自分に帰って来るのであります。これを因果応報と言います。

ロータリーでも同じことを言っています。

「もっとも多く奉仕する者、もっとも多く報いられる」という一説があります。

いよいよ7月から新しい年度が始まります。いつも以上に心掛けよりも実践の年にしたいと思います。7月第一例会に私の方針を詳しく述べさせていただきます。皆さん大勢のご出席をお願いします。

報告事項を1点。本日、皆さんに次年度の委員会配属名簿を配布させていただきました。今回、神野ガバナーの方針によりまして、「クラブ戦略特別委員会」を設置しました。委員長は、ガバナーの方針で会長の私が務めます。以上で報告を終わります。

## 第2分科会

石黒貴也次年度SAA

第2分科会の報告をします。クラブ運営部門



という事で、出席者は、経験豊富のメンバーから入会の浅いメンバーなどが集まりました。内容的に少し幅のある分科会でした。

ロータリー活動の中で、根幹となるのは例会であるということでした。第2分科会に出席している人たちは、いかにクラブ運営、例会運営を充実したものにしていくかという話が主にありました。

本会議の時から、神野ガバナーの思いなのかもしれません、例会の時に「会長が命を懸けたスピーチ」というフレーズが良く登場しました。例会のスタートは、「会長が命を懸けたスピーチ」の後に充実した例会が運営されると、コーディネーターの方が言われていました。これは相当会長はプレッシャーだと思いました。国際ロータリーの会長の思いがあって、地区ガバナーの思いがあって、そういうのを汲んで、各クラブが運営されていくというのがロータリーの形であるのかなと思いました。

R I会長は変化すること、地区ガバナーは継続すること、これは相反することではないかと思うが、実は、継続して脈々と続いていくためには、やはり変化をしていかなければならないということだそうです。

ロータリーも今までの事を繰り返していただくだけではなくて、常に世の中の出来事に合わせて、根幹になる部分と、世の中のニーズに応じていく部分を常に意識した活動をしていかなければいけない。それを意識した例会運営、クラブ運営が非常に重要だというお話がありました。

SAAに向けての言葉としては、委員会から独立をしていること、クラブの品位を保つ役割があることを言われておりました。私も来年度1年間、クラブのために少しでも役立つように心掛けて参りたいと思います。以上で報告を終わります。

## 第3分科会 原田雄二次年度雑誌広報委員長

私は入会して1年ちょっとです。ロータリー歴が浅いというよりも何も分からない状態で今回の地区研修協議会の第3分科会に参加

をして来ました。

第3分科会は、雑誌広報という名称では無くて、公共イメージ向上委員会という



名前でしたので、自分はこの分科会で良いのかと思いつつも参加をして参りました。

次年度の神野ガバナーが、「今日からのロータリーを楽しもう！」と地区方針を出されています。今日からのロータリーを楽しむという事は、ロータリー活動に興味を持ち、またそれを伝える事、それが公共イメージ向上に繋がると言われていました。

ロータリー活動に興味を持つという事は、まず MyRotary に登録すると色々情報が入ると言われていました。興味を持てば、自ずとロータリーを楽しむことになるということです。皆さん、是非 MyRotary に登録して下さい。

MyRotary に登録するだけではダメで、それを活用しないといけない。活用して何ができるのかは、私にはよく分かりませんでした。とにかく登録をお願いされました。2月現在の MyRotary の登録は、2760 地区で 23% だそうです。その中で東三河分区は 13% で 8 分区中 7 番目という事です。豊川宝飯 RC は 61 名中 3 名で 5% という報告がありました。MyRotary の登録目標は、50% 以上にしたいという事で、中でも入会 3 年未満の会員は 100% 登録を目標としているそうです。ロータリーの活性化のためには登録は必要だそうです。我々 3 年未満の会員は、諸先輩方を差し置いて登録と言うのは出来ませんので、まずは、諸先輩方々が登録をして頂いて、その後で我々 3 年未満の会員が先輩方に見習って登録をする形が一番良いと思います。どうぞ、よろしくお願いします。以上で報告を終わります。

#### 第 4 分科会 竹生和史次年度社会奉仕委員長



次年度社会奉仕委員長をさせて頂きます。よろしくお願いします。地区研修協議会に井指次年度国際委員長と共に出席をし

て勉強をして参りました。

第 4 分科会は、国際奉仕、社会奉仕、RCC、環境保全部門についての話がありました。

社会奉仕は、愛知県から生物多様性に関する説明がありました。環境保全に関する事例の発表もありました。RCC は、当地区は全国の RCC の半数が集中しているということで、

RCC が盛んな地区だとのことでした。継続的に地域に根差した活動をしていくということで、ロータリーのイメージ向上にも繋がっているということでした。

国際奉仕は、ラオスの上水道の整備に関する事例発表がありました。合わせて、ロータリー財団のグローバル補助金の話もありました。ネパールにおける移動診療所の整備運営事業についての事例発表もありました。色々な事業の発表の中で共通して言われていたのが、持続可能な事業というのがポイントでした。1 つの事業が終了して終わりではなく、次に繋がっていく事業を意識して行ってくださいと話がありました。私自身もロータリー活動が持続可能になれるように、あまり頑張り過ぎずにしっかりと活動をしたいと考えています。

来年度は、RI とガバナーの方針として、1 人 1 本の木を植えて下さいという事でした。地区としては、まだ具体的に考えてないので、これから詳細が案内されると思います。ぜひ、よろしくお願いします。以上で報告を終わります。

#### 第 6 分科会 河本圭史次年度 R 財団委員長



財団に関する非常に多くの情報がありました。中でも当クラブに関係が深い地区補助金とポリオ撲滅について報告します。

次年度、当クラブから「青い目の人形 90 年目の同窓会開催・青い目の人形と答礼人形里帰り展開催の PR 事業」ということで 2 月 28 日付け、で 40 万円の地区補助金の申請が終わっています。このあと、4 月に地区からクラブへ申請内容が確認されて、5 月には補助金審査会にてガバナー承認、6 月に地区からロータリー財団に一括申請が行われ、7 月にロータリー財団から承認を受けたのち、8 月から 9 月に地区から補助金が下りて、各クラブに入金がされるという流れになっております。

補助金を受けるにあたっては、セミナー受講が必要です。会長エレクトと財団委員長予定者が 2 月のセミナー受ける事、8 月セミナーを受けることが必要です。クラブの覚書に

は、会長と会長エレクトの署名がされますので、非常に重たい手続きだということです。お金が関わってきますので、かなり厳しい内容の話がありました。

ロータリー財団は、毎年150ドルの寄付目標があります。ドル建てなので、何となく遠い所の感じがするかと思いますか、来年度つかう補助金も、実は3年前に皆様方から頂いた寄付金が使われます。

来年の地区補助金の予算としては、2200万円。この中で現在59件の申請があり、2170万円の金額だという事で、今の段階では余裕がありますが、今後のレートによって若干足りなくなる可能性があるそうです。

無事に申請が下りて、事業が行われた際には、報告にもしっかりと気を配って報告をして頂きたいという注意点の話がありました。担当委員長や事務局とお話をしながら報告書をしていきます。

ポリオ撲滅については、毎年毎年やっています。2014年ポリオの発症国が3カ国、356人でした。発症当初から比べると99.9%減少しています。最新のデータとしては、2017年1月1日～3月22日の間、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国で、発症した子どもは4人という事です。本当にあと1歩のところまで来ています。2018年には撲滅宣言を行いたいという事ですので、引き続き皆様からの寄付を募って撲滅に頑張りたいという話がありました。

ロータリー財団委員会は、皆様方の寄付をしっかりとお願いする事と、その運用についてしっかりと事業を行って参りたいと考えております。皆様のご協力よろしく申し上げます。

## 第7分科会 杉浦元保次年度青少年奉仕委員長



第7分科会は「青少年奉仕活動をよりよく理解実践しよう」というテーマに、青少年奉仕、インターアクト、ロータリーアクト、

RYLA、青少年交換、危機管理の6つの委員会関連のメンバーを対象として、次期地区青少年奉仕委員会の岡田雅隆委員長をリーダーとして開催されました。

会議内容としては、青少年奉仕委員会の活動方針、問題点、依頼事項などです。

青少年奉仕委員会は、ガバナー方針のロータリーファミリーとの連携強化があります。インターアクト、ロータリーアクト、RYLAにクラブの行事に加わってもらい活気や周囲からの注目を大きくしようということです。各委員会の事業を強調し、総合力を高めて、青少年の健全育成を目的としています。

インターアクト委員会は、ロータリーファミリーとの連携強化、インターアクトクラブの増強、公共イメージの向上、SNSを活用した積極的活動PRとのことです。

ロータリーアクト委員会については、当地区のロータリーアクトの活動は、他の地区の活動比べて活発だそうです。予算もあり恵まれた地区だそうです。近年は、現存する各ロータリーアクトクラブの会員数の減少が、ロータリーアクトクラブ存続の問題となっています。各クラブ対して、ロータリーアクトクラブ設立の検討の依頼がありました。

RYLA委員会は、豊川クラブの竹内委員長が務めています。当クラブの樺山さんも委員をされています。来年3月にRYLAセミナーが開催されます。少しでも多くの情報を入手し、お手伝いが出来ればと思っています。

青少年交換委員会は、参加高校生、受入クラブ、学校、ホストファミリーなど様々な人たちの関わりで成り立っています。ホストファミリーの減少が問題点となっており、協力の要請がありました。

危機管理委員会は、青少年育成プログラムを実践する上で、いつ何時、事件、事故、自然災害、病気に遭遇するか分かりません。プログラムの参加者が加害者、被害者となることもあるかもしれません。それぞれの事前対応、時ちゅう対応、事故対応を想定し、事前想定、事前準備、想定訓練での危機回避が最も有効であるということです。青少年育成と言うポジティブな活動プログラムの傍ら、ネガティブな活動に思われがちですが、側面からサポートしていく委員会です。

## 第9分科会 入会3年未満 吉田啓尋会員



3年未満の会員が参加する分科会に参加しました。テーマは「ロータリーをもっと知って楽しもう」でした。

基本的には、新人としての心構えでした。

その中で講演会があり、講師に甲府RCに所属されている第2ゾーン公共イメージコーディネーターの高野孫左エ門さんが来られました。お父様、お爺様もロータリアンという方で、この方の体験談を中心として講演がされました。

新入会員としての心構えは、ロータリーを難しく考えないでほしいこと。良く知ってほしいこと。日本の事業を行う事とロータリーは似ているようで、日本では、継続の価値観が強く、日本には老舗企業で100年以上続いている会社が1万9千社、1000年続いている会社が7社。これだけ老舗企業が多いというのは、中国4千年の歴史でもない。日本は、内乱、侵略が少ない、事業を継承することが大事とする文化があり、学ぶの伝承があるそうです。事業をする場合、自分だけ儲ければ良いと思って事業をする人はいません。地域に貢献して、事業を継続するという文化が日本にはあるそうです。これが、ロータリーが継続するという話にも繋がっているそうです。

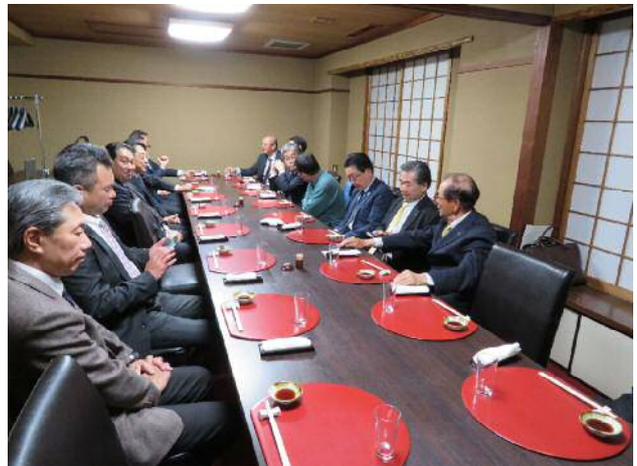
講師の高野孫左エ門さんが、ロータリーに入会したばかりの時は、とにかくクラブを辞めたかったそうです。役員などもしょうがなくやっていたそうです。変わったのは、ガバナーになった時に世界のロータリーが見えて来た。出会える機会、知り合えるチャンスが増えて、後々になって楽しさや価値観が分かって来たそうです。パストガバナーになった時に、いきなり34人の友人が出来たことなど、楽しめるようになったそうです。

質疑応答で「ロータリーの魅力は何ですか」に高野さんは、私は石油販売会社ですが、同業と交流はありますが、異業種との交流はありません。甲府RC112名中、その中の32名が、自分と同じ転勤のあるサラリーマン会員。その方々は2~3年で変わっています。その方々の工夫、アイデア、地域に溶け込もうとする姿勢などが新鮮で楽しみだと言われた話が私には印象的でした。

#### ★4月22日の地区研修協議会の様子



#### ★地区研修協議会の慰労会



#### ★ニコニコボックス

夏目雅康会員	娘が結婚しました
滝下 勲会員	青年部OB会の会長就任
大沢茂樹会員	里帰り展のご支援のお願い
大木健市会員	誕生日を祝って頂き
山本博史会員	結婚記念日を祝って頂き

会報担当：中村嘉輝会員・中西弘徳会員